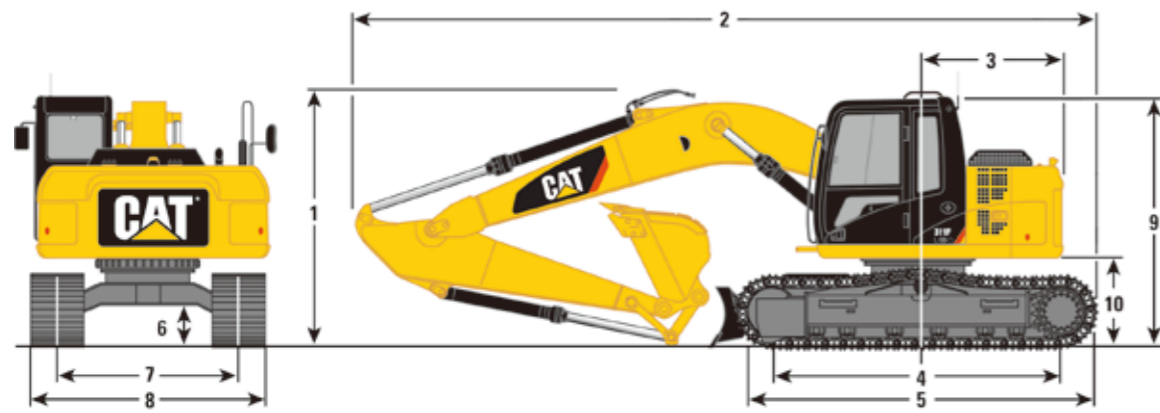


311FLRR 油圧ショベル [汎用小旋回機]



外形図 (単位: mm)



1	2,860
2	6,910
3	1,750
4	2,780
5	3,490
6*	440
7	1,990
8	2,490
9	2,760
10*	900

*ラグ高さ含まず

主要諸元

機種		311FLRR
標準仕様		GMC-T5
運転質量	kg	12,000
標準バケット容量	m ³	0.5(0.45)
掘削力	kN(kgf)	60(6,100)
バケット	kN(kgf)	90(9,200)
輸送時姿勢	全長	6,910
寸法	全幅(トラック全幅)	2,490
	上部旋回体全幅(ミラー・ハンドル含む)	2,790
	全高	2,860
法	最低地上高(ラグ高さ含まず)	440
	後端旋回半径	1,750
	タンブラ中心距離	2,780
	履帯中心距離	1,990
	旋回速度	10.1(10.1)
	走行速度[高速/低速]	5.4/3.6
	登坂能力	58(30)
定回り	標準シユー幅	500TG*
	接地圧	39(0.40)
エンジン	名称	Cat C3.4B ディーゼルエンジン
	形式	4サイクル水冷直列直噴式 ターボチャージャ付
	総行程容量	3.4
	定格出力/回転数	52(71)/1,800(1,800)
油圧機器	ポンプ形式	可変容量ピストン式
	リリーフバルブ設定圧	30,500(311)<作業装置>/35,000(357)<走行>
容量	燃料タンク(軽油)	210
	ハイドロリックオイル	145<全量>
	エンジンオイルパン	8<全量>
	冷却水	20<リザーバタンク含む>

単位は国際単位系によるSI単位です。またバケット容量と掘削力は新JIS表示です。
()内の数値は旧表示を併記したものです。

*TG: トリプルグローサシユ

作業範囲 (単位: mm)

仕様	GMC <標準仕様>
ブーム長さ	4.3mブーム
アーム長さ	2.25mアーム
最大掘削深さ	5,040
最大垂直掘削深さ	4,510
最大掘削半径	7,700
最大床面掘削半径	7,570
最大掘削高さ	7,800
最大ダンプ高さ	5,400
最小ダンプ高さ	1,880
フロント最小旋回半径	2,440
床面仕上最小半径	1,920



キャタピラー・ジャパン株式会社

本社(代表)東京都世田谷区用賀4丁目10番1号 〒158-8530 TEL.03-5717-1121
(HPアドレス) <http://japan.cat.com/>

労働安全衛生法に基づき機体質量3トン未満の建設機械の運転には事業者が実施する「小型車両系建設機械運転技能特別教育」の修了が必要です。

労働安全衛生法に基づき機体質量3トン以上の「車両系建設機械(整地・運搬・積込・掘削用)および(解体用)の運転」には登録教育機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。

CATERPILLAR, Caterpillar, CAT, Cat及びACERTはCaterpillar Inc.の登録商標です。

掲載写真はカタログ用にポーズをつけて撮影したものです。機械から離れる場合は必ず作業装置を接地させてください。掲載写真は標準仕様と一部異なる場合があります。

仕様は予告なく変更することがあります。



本機をご使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。
故障や事故などを防止する為、定期点検を必ず行ってください。

4138C1-01(0614)



311FLRR

油圧ショベル [汎用小旋回機]

運転質量	12,000kg
標準バケット容量	0.5m ³ (旧JIS 0.45m ³)
エンジン定格出力	52kW (71PS)

特定特殊自動車排出ガス2014年基準適合車
国土交通省低騒音型建設機械

次の世代を切り拓く

Cat® 311F L RR油圧ショベル登場



**ゼロエミッションを
追求すると共に
低燃費を実現**

Cat 311F L RRは、排出ガス規制では世界で最も厳しい「オフロード法2014年基準」に適合可能なクリーンと省エネを両立した新世代油圧ショベルです。環境にやさしく、ランニングコストの低減が可能なマシンが、お客様のビジネスの成功に貢献します。

環境性能と燃費効率を追求した Cat C3.4Bディーゼルエンジン

アイソクロナス制御による低燃費・低騒音化と、最新のアフタートリートメント技術の導入により高い環境性能を実現しました。



DOC/DPFの二重構造により排出ガスをクリーンにする Catクリーンエミッションモジュールを搭載

*DOC: ディーゼル酸化触媒
*DPF: ディーゼルパーティキュレートフィルタ



**優れた狭隘地作業性を
発揮する
汎用小旋回機**

従来モデルの小旋回性を維持しつつ、燃料消費量の低減、安定性の向上を実現。優れた汎用性で、道路工事をはじめ産業廃棄物処理、解体工事など様々なアプリケーションで活躍する、お客様が待ち望んでいた性能をもった一台です。

後端旋回半径1,750mmの後方小回り性

従来7トンクラス標準機相当の小さな後端旋回半径で優れた小回り性を実現。狭い現場での工期短縮を可能にします。



リアビューカメラ&ミラーを標準装備

作業時の視界を広げ、安全性を高めるリアビューカメラとライトサイドミラーを標準装備しています。リアビューカメラの映像は、キャブ内のモニタに映し出すことができます。



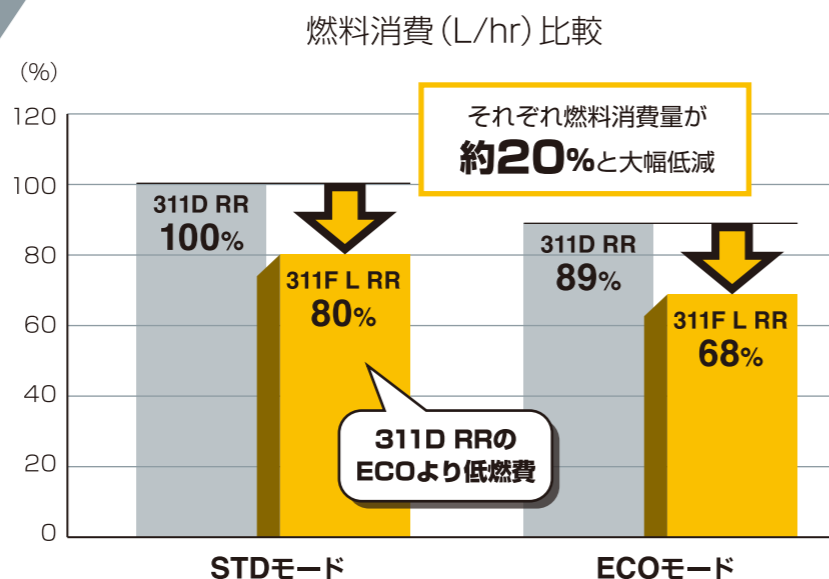
安全性を高めたROPS規格適合キャブ

明るく広い操作空間とワイドな作業視界が、ゆとりあるオペレータ環境を提供します。ROPS規格適合キャブ搭載により安全性が向上しました。



燃料消費量を飛躍的に低減

燃料消費量を従来モデルから約20%低減することに成功しています。標準バケット容量アップなどにより、燃料生産性は従来モデルを上まわる性能を確保しています。



機体安定性を追求したロングクローラ

ロングクローラが生む優れた安定性により、高い作業効率を発揮します。

